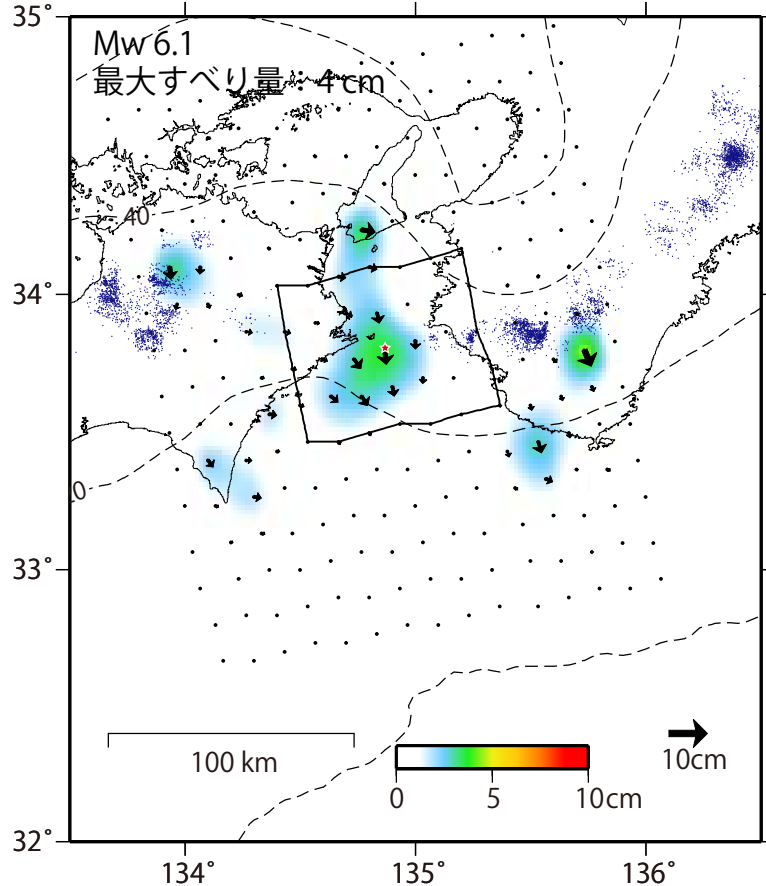


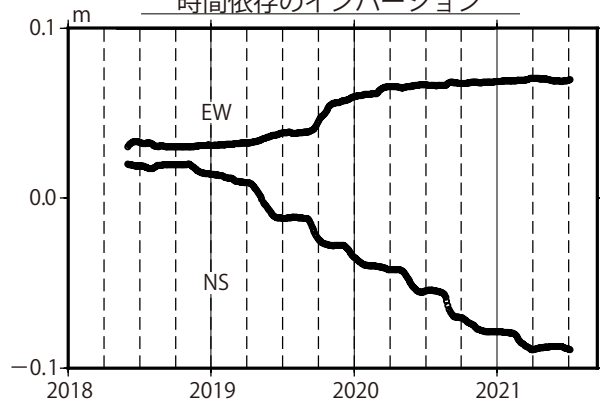
GNSSデータから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布  
(2020/6/1 - 2021/7/5)

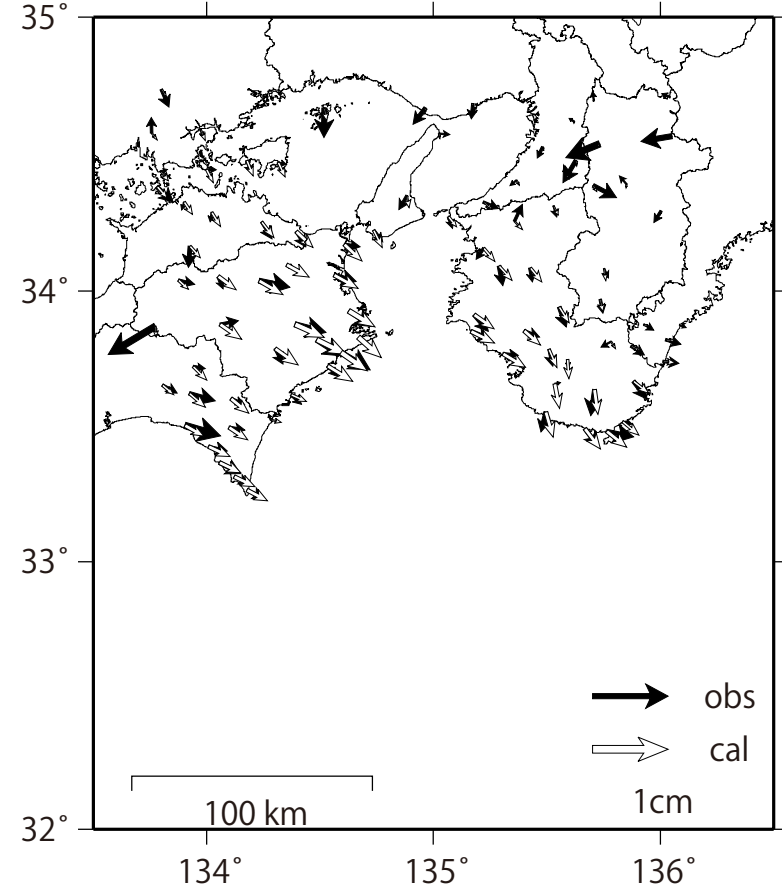


推定したすべり量が標準偏差 ( $\sigma$ ) の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

グリッド (★) におけるすべりの時間変化  
時間依存のインバージョン



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較  
(2020/6/1 - 2021/7/5)



使用データ：F5解 (2018/1/1 - 2021/6/26) + R5解 (2021/6/27 - 2021/7/5)

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1

(年周・半年周成分は2017/1/1 - 2021/7/5のデータで補正)

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)

すべり方向：東向きから南向きの範囲に拘束

青丸：低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間：2020/6/1 - 2021/7/5)

固定局：網野

※ Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。

(前回までの資料は水平面に投影したすべり量で評価。今期間について、前回と同じ方法で評価した場合、Mwは6.1、最大すべり量は4 cm。)